



## モバイル端末への対応

2019年9月12日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

## 1. モバイル端末への対応

利用者ヒアリングやアンケート回答等を踏まえ、第7次NACCSにおいては、以下の通り、検討する。

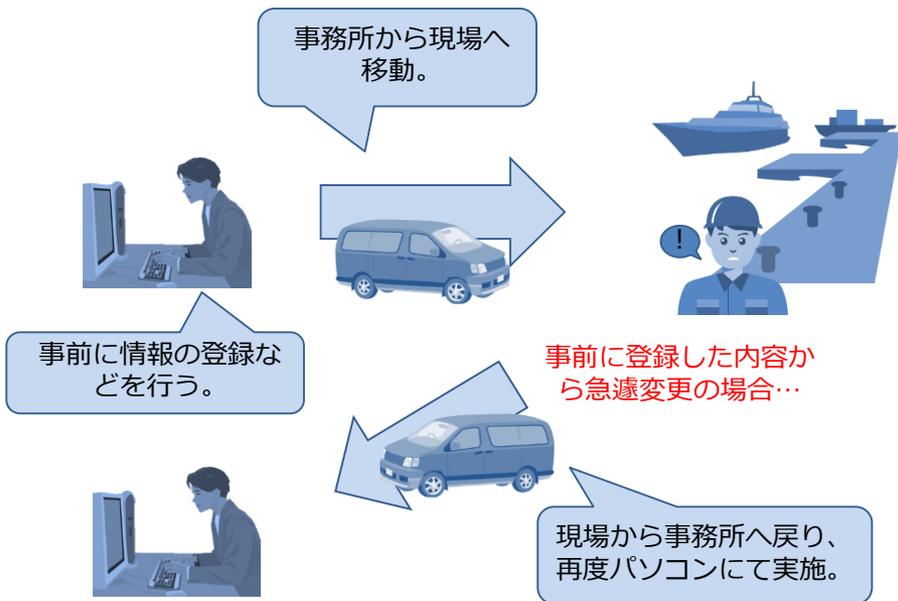
区分	概要	備考
1. 個別検討事項	モバイル端末※への対応 ※モバイル端末：スマートフォン/タブレット端末を指します。	
2. 現行仕様	モバイル端末には対応していない。	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	第6次NACCS更改時、モバイル端末（スマートフォン、タブレット）への対応を検討したが、デジタル証明書の導入が困難であることから、対応を見送った経緯がある。一方、利用者からはスマホ対応或いはモバイル対応に関して、是非、実現に向けた検討を行って欲しいとする要望が寄せられている。 今後モバイル端末が更に普及することを予想して、第7次NACCSではモバイル端末での業務が可能となるよう検討を行う。	
4. 次期仕様	業務の効率化やNACCSの利便性向上が見込めるWebNACCS機能を対象とし、モバイル端末への対応を行う。	
5. その他	モバイル端末への対応にあたり、以下の観点も踏まえ、実施の可否を検討する。 ・利用シーンや実用性（2ページ目に記載） ・認証方法（別議題「デジタル証明書の見直し」にて検討）	

## 2. モバイル端末対象業務

### 【ユースケース案の一例：海上入出港手続き】

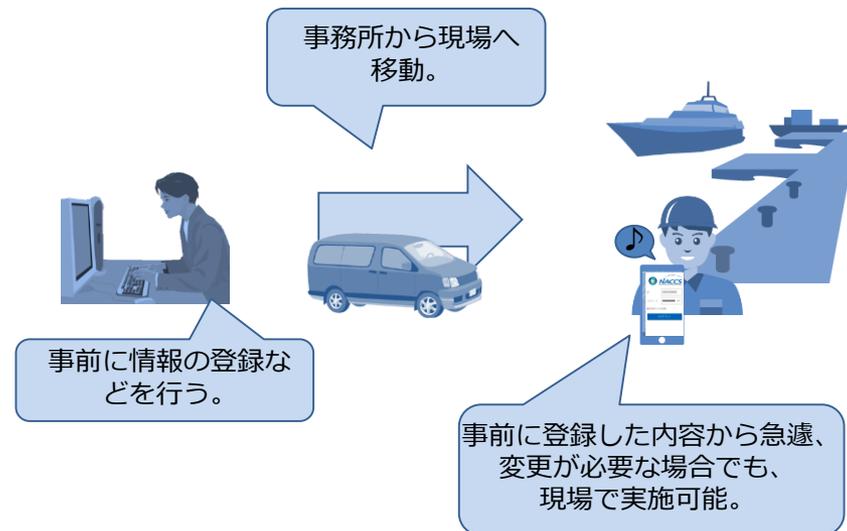
#### <現状>

事前に情報登録などを行っていたが、現場での作業中に急な内容変更が発生した場合、再度事務所に戻り、パソコンにて申請をする必要がある。



#### <対応後>

通常時、緊急時にかかわらず、現場での実施が可能となる。



### 【利用者アンケートで挙げたユースケース案】

- ・ 外出先での各許可の確認ができる。（通関業）
- ・ 税関での検査対応者がスマートフォンで貨物情報がわかる。（通関業）
- ・ 緊急事態(台風時の地域停電時等)時に、2次手段として活用したい。本船入出港業務で利用したいと考えている。（CY）
- ・ 将来的には照会業務をモバイル端末（デバイス）で活用できると便利になるかもしれない。（NVOCC）

モバイル端末対応の対象範囲は、業務の効率化や利便性向上への貢献が見込めるWebNACCS機能とし、開発に要するコスト、期間等を踏まえ判断することとしたい。